



## 新任駐タイクウェート特命全権大使によるタイ国会議長表敬



2021年3月16日（火）午後2時ごろ、国会議事堂の3階にある応接室にてチュアン国会議長兼衆議院議長は新たに駐タイクウェート特命全権大使として着任したモハムド・フサイン・アルファイラカウィ（H.E. Mr. Mohammad Husain Alfailakawi）閣下による表敬を受け、歓迎の意を表しました。大使は着任挨拶の後、新型コロナウイルス感染症収束後のタイ地方訪問事業の実施や両国の関係強化などにつき議長と意見を交わしました。概要は以下のとおりです。

1. 大使から議長の歓迎のお言葉に感謝するとともに、この度、表敬訪問ができたことは光栄である旨のべました。大使が今回議長と会ったのは2回目で、1回目は、シェイク・サバーハ・アル・アハマド・アル・ジャービル・アル・サバーハ・クウェート首長（Sheikh Sabah Al-Ahmad Al-Jaber Al-Sabah）が2020年9月29日に薨去されたことを受けた弔意の記帳を行ったときだということです。
2. また、大使は「クウェート国会議長はタイ国の更なる発展を祈念している。新型コロナウイルス感染拡大収束後、クウェート国会議長はクウェート公式訪問を招待したいと思う。やりとりとしてはクウェート大使館が努力していく」と述べました。
3. これに対し、チュアン議長はクウェート国会議長による公式招待に感謝の意を表明し、新型コロナウイルスが収束したら、訪問したい旨述べるとともに、クウェート国会議長に敬意を表しました。そして、中東地域においてクウェートは民主主義が優れている国のひとつであることを称賛しました。
4. また、チュアン議長はクウェート政府がタイ人留学生をサポートすることに感謝し、仕事に役立つ知識と技術を身につけるため、専門学校への留学促進支援をお願いしたい旨述べました。これに対し、大使は、「現在、工学・経済・医学分野においてクウェートを含む中東諸国へのタイ人留学生が増加しており、留学生たちが学んだ知識を国の開発に生かしていくことを期待している」と応じました。

URL : [https://www.parliament.go.th/ewtadmin/ewt/202006/view\\_news.php?n\\_id=77106](https://www.parliament.go.th/ewtadmin/ewt/202006/view_news.php?n_id=77106) （タイ語）

情報提供：衆議院事務局|国際関係部 | 外交儀礼・国際情報事業部

写真：衆議院事務局|マスメディア事業課 | 広報部

翻訳：衆議院事務局|外国語事業担当部|日本語担当|タカウィット・ミンクワン

表敬・懇談中の様子

